

公共施設の見直しと将来像

みんなで
考えよう

多摩市
政策情報誌
vol.4
(平成29年12月発行)

特集 多摩センター活性化とパルテノン多摩



目次

「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました！ 2～3 ページ

特集 多摩センター活性化とパルテノン多摩

多摩センターはこう変わる！ 4～5 ページ

パルテノン多摩を改修します 6～8 ページ

市民に愛される「パルテノン多摩」をめざして ～行動プログラムを更新しました～

本年11月、「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。市民の皆さんとの対話を重ね、コミュニティセンター内の地域図書館など身近な施設は残しつつ、次世代への負担を極力減らしていく創意と工夫をこらしていくこととしています。

今号では「パルテノン多摩」の大規模改修への対応と、百貨店の営業終了などでご心配の多い多摩センター地区の現段階での市としての将来構想イメージを紹介します。

あわせて皆さんからご質問をいただく事業費の財源についてですが、今回の大規模改修は、ほぼ都市計画税により賄うこととしています。この税は目的税であり、待機児対策や地域包括ケアなどには

使うことのできない税であり、なおかつこれまでは施設のリニューアルには使えない財源でした。

多摩市では、国に用途の拡大を強く求め、平成26年に国土交通省の指針が改定され、都市計画決定されている施設である「パルテノン多摩」にも都市計画税を適用できるようになったものです。

改修後は、市民の皆さんの憩いの場として、芸術・文化そして多摩地域の情報発信・地域文化の拠点として運営方法・内容を市民の皆さんと議論し、私たち市民にとってなくてはならない「パルテノン多摩」としていきたいと考えております。

市民の皆さまのご理解と更なるご協力を

よろしくお願い申し上げます。

多摩市長 阿部 裕行



「公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました！

多摩市では、多摩ニュータウンの開発に伴う急激な人口増加に対応するため、一時期に多くの公共施設（建築物）を整備してきた結果、施設の老朽化による更新時期を今後一斉に迎えます。

一方で、少子・超高齢社会の進行による社会保障関連経費の増加と、将来的な市税収入の厳しい見通しの中で、公共施設を更新するための財源は限られています。多摩市では、公共施設を将来も安全に使い続けるとともに、施設総量を縮減しながら、時代のニーズに合わせた機能転換等を進めることを目的に「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を平成25年11月に策定し、取り組みを進めてきました。

この度、プログラム策定時からのこれまでの社会状況の変化や、市民・市議会の皆さんからのご意見、アンケートや市民ワークショップの実施、市民の方々と対話を重ねた結果を踏まえ、平成28年11月に「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の内容を更新しました。

策定（平成25年11月）以来、行動プログラムで大切にしていること

公共施設の見直し
3つの目的

1
安全に使い
続ける

2
施設全体の
ダイエツト

3
時代のニーズに
合わせた施設へ
の機能転換

計画期間・対象となる施設

計画期間
平成26～35年度（10年間）

対象となる施設
体育館、公民館、図書館、パルテノン多摩、コミュニティセンター、集会所、学校跡地、庁舎、資源化センター など

※道路、公園、下水道、橋、学校施設等は対象外です。



行動プログラムの構成

「総論」「各論」の2部で構成しています。

総論 行動プログラムの目的・目標を記載し、目標を達成するための手法を明らかにしています。

各論 対象となる施設ごとに、今後の取り組みを明らかにしています。

策定（平成25年11月）からこれまでの社会状況変化

行動プログラム策定以降、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催決定、消費税増税の動向等をはじめ、様々な状況変化がありました。今回の更新版では、こうした変化も踏まえた内容としました。

状況変化の例

多摩ニュータウン再生の取り組み・都営住宅の建て替え

- ◆市では平成28年3月に、多摩ニュータウンの再活性化と持続化を図ることを目的とした「多摩市ニュータウン再生方針」を策定しました。大規模団地の更新や子育て世帯の流入等を促進し、住民の高齢化や団地等の経年劣化に対応していきます。
- ◆老朽化した都営住宅の建て替えに向けて、学校跡地を活用することで、居住者の負担軽減、事業期間の短縮等を図っています。



現在の都営多摩ニュータウン諏訪団地

都市計画税の活用

- ◆平成26年8月に、国の「都市計画運用指針」が改定され、都市計画税が道路、下水道、公園など、都市計画事業の財源にできる使いみちが拡大しました。
※東京都から都市計画事業認可を取得することが条件
- ◆施設の新設だけでなく、改修にも使えるようになりました。

▶ 詳細は、8ページをご覧ください。



実際の活用事例 ～改修後の永山北公園～

市民の皆さん・市議会からのご意見

- ◆行動プログラム策定時に「廃止」の方向性を示した施設の存続を求めるとご意見をいただきました。また、市議会へも施設の存続を求めると陳情等が提出されました。
- ◆市議会での平成28年度当初予算案の採決にあたり、パルテノン多摩の大規模改修においては、多様な財源を活用して後年度負担が膨大にならないようにすること、多摩センター地域全体の更なる活性化につながるよう工夫すること、広く市民・市議会との情報共有・意見の反映に努めることを求める「附帯決議」が付されました。

更新した行動プログラムの詳細は……

- ▶ 今後も社会状況の変化等を踏まえて、適宜、内容を更新します。
※個別施設の取り組みについて、毎年度、到達状況をお知らせします。
- ▶ 更新版の冊子は、市内各図書館、行政資料室（市役所第二庁舎1階）、市役所行政管理課（市役所本庁舎3階）でご覧いただけます。

行動プログラムの詳細は……

多摩市 公共施設の見直し方針



◆今後も市民の皆さんと対話をしながら、施設の配置や機能の転換等を含め、検討してまいります。引き続き、皆様のご協力をお願いします。

今号では、パルテノン多摩の改修を含めた多摩センター駅周辺地区の将来構想について、特集しました。▶ 4ページ以降も是非ご覧ください！

多摩センターはこう変わる！

多摩センター駅周辺は、多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点としてふさわしい、魅力あふれる街づくりを目指して、平成29年度から34年度にかけて再整備する予定です。

パルテノン多摩

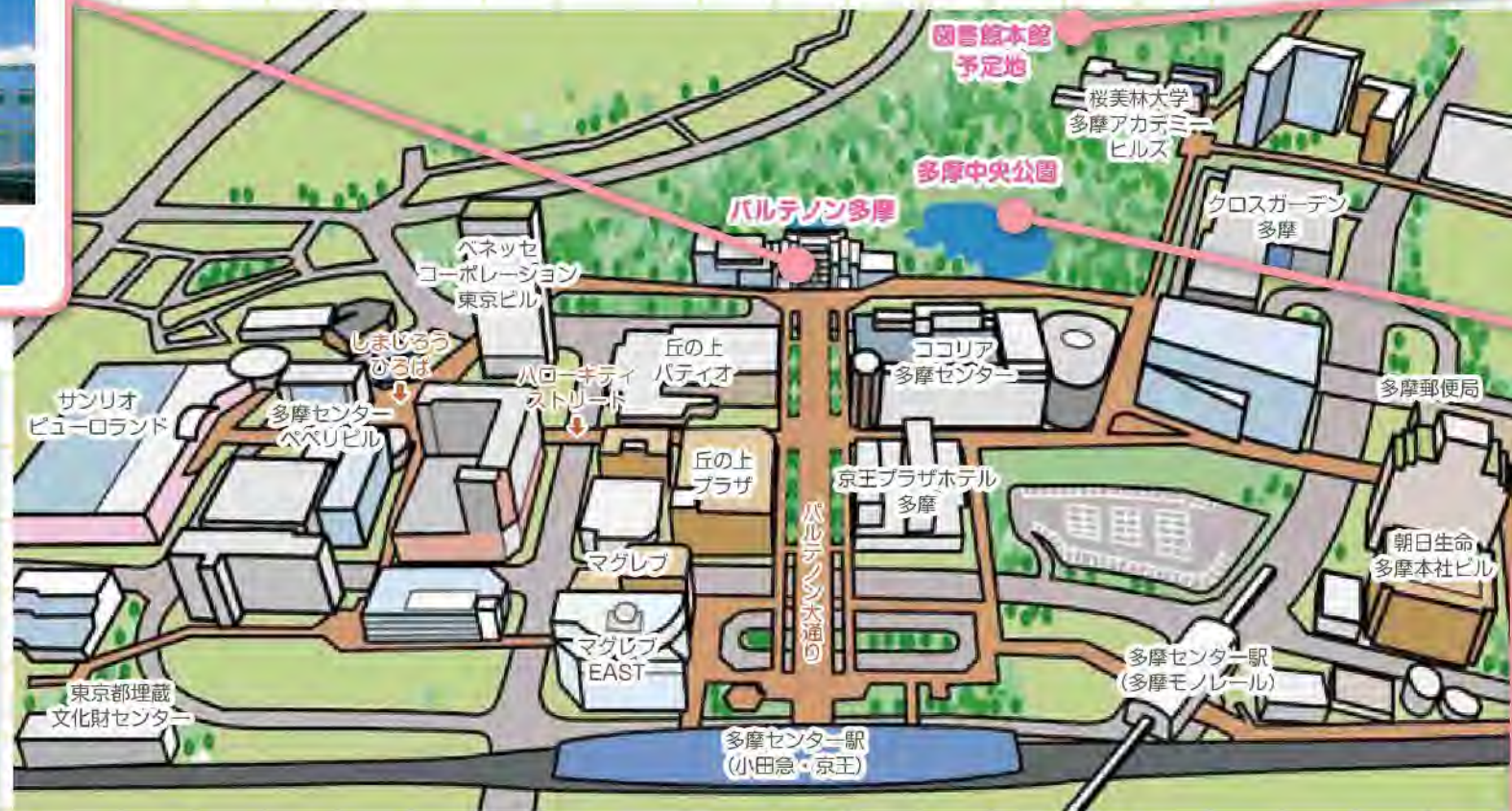
今後さらに文化芸術活動の拠点施設として多くの皆さんに利用していただくため、「老朽化対応」、「安全への配慮」、「更なる価値の創造」に向けて改修します。



→ 詳細は、6～8ページをご覧ください。

▼ 多摩センター駅周辺地区 将来構想イメージ ▼

市では、より多くの方に訪れていただける、多摩センター駅周辺地区となるよう、駅周辺にあるパルテノン多摩、多摩中央公園等の施設を一体的に整備する予定です。ここでは、今後予定している多摩センター駅周辺の将来構想イメージをご紹介します！



図書館本館

平成30年までの暫定として旧中学校施設を改修し使用している図書館本館を、施設の安全確保や時代に合わせたサービス向上のため再整備します。

現在、市民・学識経験者等で構成する「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」で検討しています。

多摩中央公園

パルテノン多摩及び多摩中央公園周辺へのアクセスにかかる段差解消など、バリアフリー化を図るため、スロープ等を設置します。



オープンカフェ

● ペDESTリアンデッキ上にオープンカフェを設置することで、まちの賑わいを創出します。



参考イメージ

バリアフリー化の促進

- 多摩センター地区をだれもが安心して移動できる空間とするため、既存施設のバリアフリー化を促進します。
- バスロータリーから、駅やペDESTリアンデッキへの昇降を円滑化し、地区の回遊性を高め、歩行空間の快適性を向上させます。



参考イメージ

ペDESTリアンデッキ

- 多摩センター駅からパルテノン多摩や図書館等への動線となるペDESTリアンデッキは、通行の安全性や快適性の向上を図るための改修を行います。
- 随所にベンチ等も整備して、歩行者の利便性や快適性を向上させます。



参考イメージ

誰もがわかりやすい空間の整備

- 外国人観光客を含む来訪者の誰もがわかりやすい空間の整備のため、情報案内板やサインを整備します。
- 併せてWi-Fi環境の整備を推進します。



参考イメージ



参考イメージ

一口メモ

多摩センター駅関連データ

- 多摩センター駅 乗降者数（1日平均） 約17万人 ※統計たま（平成28年版）京王・小田急・多摩モノレールの合計
【参考】 聖蹟桜ヶ丘駅約6.5万人、永山駅約7.3万人、唐木田駅約2.1万人
- パルテノン多摩の利用者数 成人式や長寿を祝う会、入学式や合唱祭など教育の場面や、年末を歓喜の合唱で飾る「第九」など、多摩市民の生活の中にホールがあり、年間約50万人の利用があります。

パルテノン多摩を改修します



パルテノン多摩は昭和62年に建設され、築30年を迎えます。

パルテノン多摩は市民の文化芸術を振興するだけでなく、年間50万人を超える集客による経済効果があります。また、企業誘致や若い世代を惹き付けることによる多摩センターの賑わいの創出、さらに地区の活性化による税収基盤確保の牽引役としても重要な役割を持つ施設です。

市民のための施設として、またこれからも多摩センターの発展を支え、目的がなくても気軽に立ち寄り憩える施設として長くあり続けることができるよう、老朽化が顕著になった施設の大規模改修工事を行います。

① どうして今改修するの？

● 施設が劣化しています

雨漏りや外壁コンクリートが剥がれている箇所があり、落下等で人的被害が及ぶ可能性があります。また電気・空調設備等も老朽化しており、公演中の停電や空調停止の可能性があるなど、施設運営上のリスクを抱えている状態です。各種公演が中止等にならないよう更新する必要があります。



外壁タイル



施設内の配管



音響調整卓

● 主要部位の耐用年数

建築、電気、機械、舞台等の設備には耐用年数が設けられており、各所交換時期を迎えています。施設を良好に維持していくためには、耐用年数に合わせた設備の更新が必要です。設備機器は30年前に作られたものが多く、すでに部品の供給もできないことから、修繕することができない状態です。機器を更新し、これから先長く使えるようにする必要があります。

● 建築物の維持

建設から解体までにかかる費用（ライフサイクルコスト）を考えると、建設後30年で大規模改修が必要です。多摩市では「多摩市ストックマネジメント計画」に基づき、各施設・設備の耐用年数を考慮し必要な改修を行うことで、安全の確保や機能性の向上を図っています。パルテノン多摩が今後も長く皆さんに安全に利用していただける施設となるよう、適切に改修していきます。

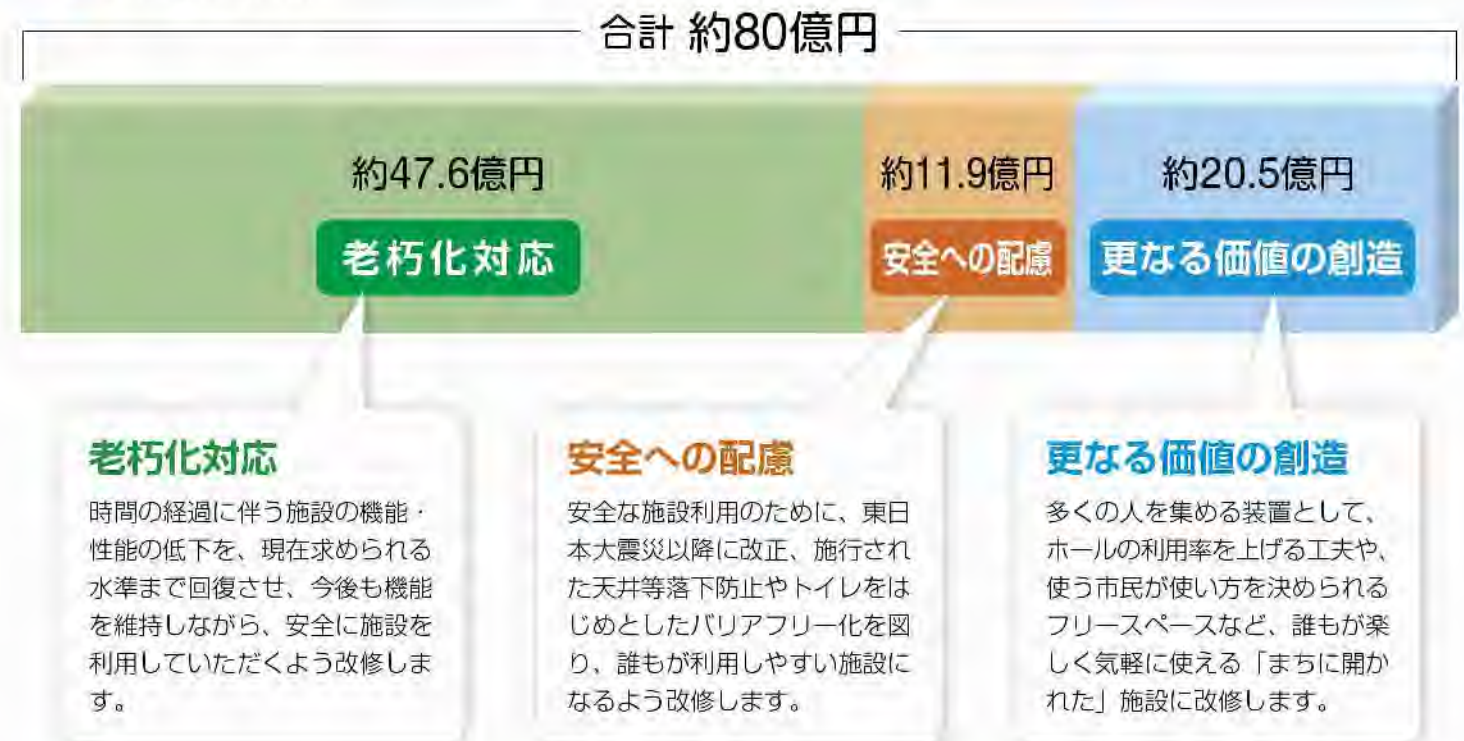
主要部位の耐用年数（目安）

区分	対象	耐用年数
建築	防水	20～30年
	タイル	40年
電気	受変電設備	25～30年
	消防設備	20年
	自家発電設備	30年
機械	空調設備（熱源）	20年
	自動制御設備	15年
	配管（空調・給排水）	25～30年
舞台	機構	15～30年
	照明	10～15年
	音響	10～15年

（一般財団法人建築保全センター「建築物のライフサイクルコスト」より）

② どのくらいの費用がかかるの？

● 改修内容と費用



※あくまで平成28年9月時点での提案金額です

● たま広報をご自宅までお届けします！

たま広報は、新聞折り込み、公共施設等での配布の他、市内在住の新聞購読をしていないご希望の世帯にポストインで個別配布しています。希望する方は、ご連絡ください。市公式ホームページからも申し込みできます。



お申し込みお待ちしています！

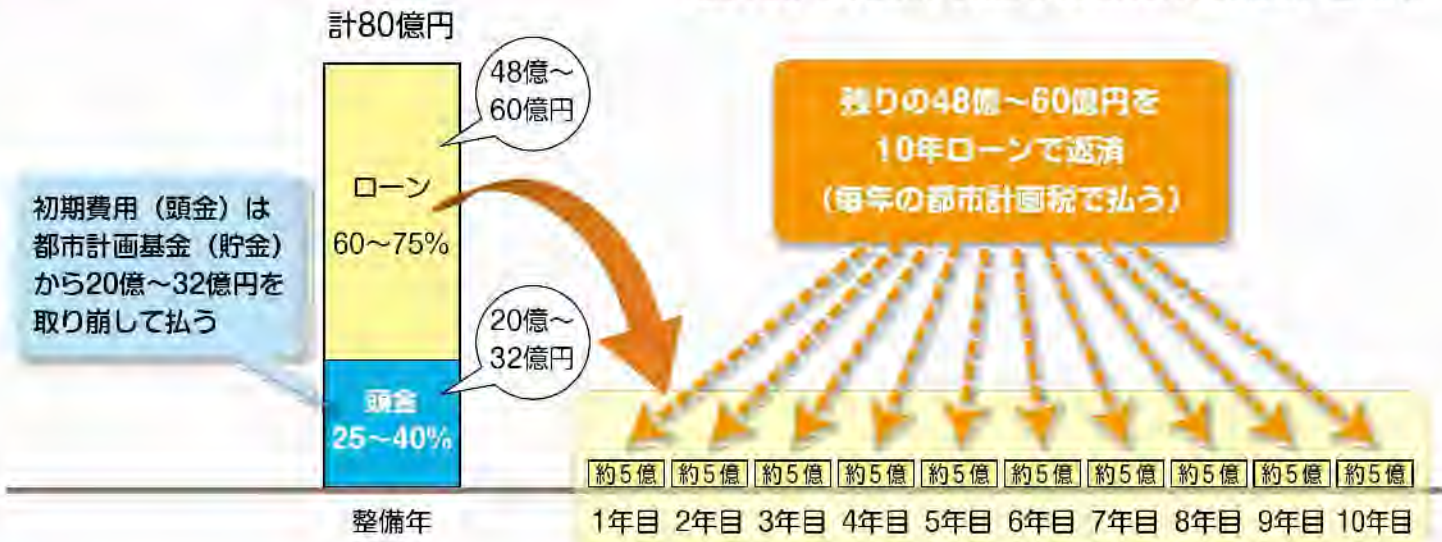
問 広報広聴課 ☎042-338-6812

③ 支払い方法はどうなるの？

● 市の財政は大丈夫？

▶ 改修費用の返済イメージ（都市計画税・都市計画基金の充当）

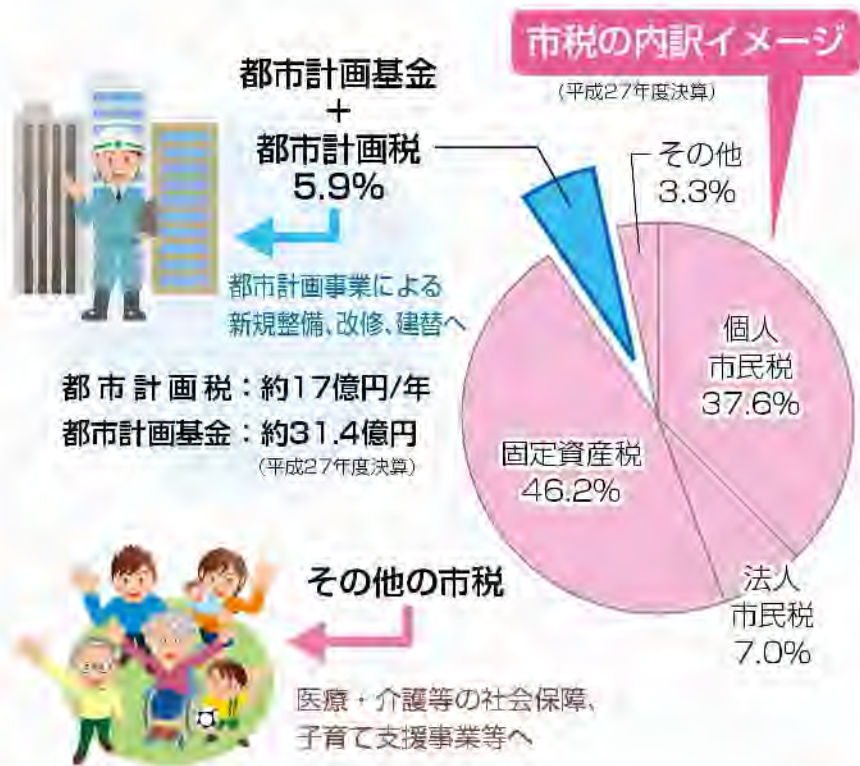
* 改修事業費（工事費のみ）を80億円、償還期間を10年とした場合（金利除く）



● 他の市民サービスに影響ないの？

都市計画税及び都市計画基金は、医療・介護・福祉等の社会保障や子育て支援事業等には使えません。東京都から都市計画事業認可を受けている施設の建設や改修のみに使える財源です。そのため、市民の皆さんが新たに費用負担することなく、また市で実施している福祉や子育て・教育など他の事業には影響はありません。

● パルテノン多摩は多摩中央公園の公園施設として東京都から都市計画事業認可を受けており、今回の改修では都市計画税及び都市計画基金を使う予定です。また、今後改修が必要とされる公園や下水道、道路、橋等他の改修事業も計画的に進めていく見通しが立っています。



施設改修の取り組みについては、

これからも市民の皆さんと一緒に考えていきます。

